

1. 問題・不満に感じる事項

分野	小分類	寄せられた意見
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	日本の海岸を全てコンクリートで固めなければならないのですか？国土の保全のため必要などころもありますが（久能海岸等）自然のまま問題ないところまでやるのはいかがなものかと思えます。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	私たちの望むのはただありのままの海を残して欲しい。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	行く先々で、必ず海が有り世界に誇るべき美しいリアス式海岸等多数の優れた海岸線も保有しています。にも関わらず、無駄だと思われるコンクリート壁の設置、あるいは海岸に沿った道路の建設を見受けると残念に思います。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	昔から「白砂青松」で親しまれた日本の美しい海岸風景が消えてきている。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	堤防、テトラポットの無い海岸整備を望む。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	これ以上海に人工構造物を入れるのはやめてください
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	消波ブロックなどの人工構造物が多く自然のままの海岸が少ないことです。日本は海に囲まれた美しい国なのにその美しさを壊してしまうのは大変に愚かな行為だと思います。
(1) 海や海辺の環境	1.海辺の自然環境	テトラや堤防など、人工的に工事をし自然な感じがどんどん無くなってしまっている。
(1) 海や海辺の環境	2.海や海辺に対する国民の意識	日本の本当の姿を、国民一人一人が理解できるような政策を行って、一人でも多くの人が理解すれば、もっと日本人の心が豊かになり、いろいろな問題も減っていくような気がします。
(1) 海や海辺の環境	2.海や海辺に対する国民の意識	漁業や観光などに携わっていない私達にとっても海岸は生活の一部であり、茅ヶ崎という町の一部です。「精神的な豊かさ」と「物質的な豊かさ」のバランスのとれた町づくり、という方向に発想を転換していかなければならない時代にきていると考えます。
(1) 海や海辺の環境	2.海や海辺に対する国民の意識	一番目につくのは浜辺にゴミが散乱していることです。このことはサーファーに限らず海を利用しているすべての人の中の一部のものに自然を大切にしていこうという自覚の無さから起こっていると思います。
(1) 海や海辺の環境	3.海砂利の採取	海砂採取 全面禁止 海砂は国交省所管の国有財産である。国は、なぜ、このような漁業資源と周辺の環境を破壊し、沿岸構造物に被害を及ぼす行為を止めないのか。
(1) 海や海辺の環境	3.海砂利の採取	海砂利採取によりその環境は悪化し続けています。
(1) 海や海辺の環境	4.藻場	東京湾内の最大の干潟の荒廃と藻場の減少
(1) 海や海辺の環境	4.藻場	かつては、アマモは至る所に生えていて、海水浴のとき足にからんで困っていたし、島の農家は、船に山積みするほどのアマモを採って砂浜で乾燥し、段々 畑に入れて土砂の流出を防ぐとともに肥料にしていた。今は、藻場がどこにあるかも分からない。
(1) 海や海辺の環境	5.干潟	そもそも、「海域」に対する考えが甘い。「海域」は「陸地」となら変わらない、大きな価値がある場所です。ただ、地面がないにすぎない。むしろ、「陸地」では果たしえない大きな役割を担っています。干潟の浄化能力は言われて久しい。
(1) 海や海辺の環境	5.干潟	過去の埋め立て等の開発事業による環境影響が、残存している干潟等の自然環境に悪影響を与えている。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	海、海辺の自然環境についての科学的な調査に基づくデータが不足している。特に、海岸の植物群落や藻場、地形変化などの実態調査と継続的なモニタリングが必要である。 今回のデータ集をみても、野生生物のハビタットとしても重要な海岸の植物群落については全く触れられていない。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	誰が使うのか、使用するひとがいるのかどうかもわからない空港建設時に使う土砂の採取。砂浜がどんどん無くなっており、ウミガメの産卵する浜が無いことなど、他の生物が絶滅の危機に瀕しているということは、人間の存続も危ういと考えます。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	必要性のない場所へのテトラ投入 海の外観を損なうだけでなく生態系にまで影響を与えてしまう。
(1) 海や海辺の環境	6.海辺の生物の生息環境	砂浜が少しでも後退するとすぐに堤防が築かれ、道路や松林が造られて砂浜が消滅してしまいます。砂浜の生き物達は後退する汀線と人間社会の狭み撃ちにあって、絶滅の道を歩んでいます。砂浜の生き物達にとっては生物史上最大の危機に面しているということが出来ます。 海岸には海岸でしか生きられない多様な生き物達が住んでいます。「沿岸域に関する国民のニーズ」を聞くのも結構ですが、沿岸域には、沿岸域を追い出されると死ぬしかない多様な生き物達がいることを常に念頭において沿岸域のあり方を検討してほしいと思います。
(1) 海や海辺の環境	7.赤潮の発生	赤潮の発生件数は、減少している。しかし閉鎖水域と言われる瀬戸内海、東京湾などでは、漁業の水揚げの減少、魚種の変化と種の減少が続いている。 これは、中低層の水質が改善されていなく、底生の動植物が構造的なダメージをうけたままであるため、海の再生産力が低下していると考えられる。（中低層のデータを入手できないため推定の域を出ないが）

1. 問題・不満に感じる事項

分野	小分類	寄せられた意見
(1) 海や海辺の環境	8.環境基準の達成状況	伊勢湾(三河湾を含む)は、閉鎖性海域のなかで、環境基準(COD)達成率が最低(達成率40%~50%)であり、昭和50年代より発生源別発生負荷量はかなり改善(26%)されているにもかかわらず40年代後半から殆ど改善されていない。
(1) 海や海辺の環境	9.海洋汚染	広島県上黒島は、無人島であるがために膨大な廃棄物が露天に積み、有害な廃水が直接海に垂れ流しになっているのに、だれも取り締まろうとしない。 住民も、業者の監視をこわがって近寄らない。そのまま、放置するのか。
(1) 海や海辺の環境	9.海洋汚染	工場等への規制は始まった様ですが海を汚している一番の原因は家庭からの排水ではないでしょうか?家庭からの排水について、もっと考えるべきだと思います。
(1) 海や海辺の環境	9.海洋汚染	テトラポット、すなわちコンクリートを膨大に海中へ放置することにより、アルカリの影響は本当にはないのでしょうか、心配です。
(1) 海や海辺の環境	11.海岸漂着物	漂着ゴミの調査をしています。プラスチック系の漂着ゴミが異常に多く発見されています。何年もかかって漂流し、分裂はするが分解されないで永遠にさまようようです。 例えば広島で名産のカキですが、養殖用パイプがハワイ諸島に漂着し、海鳥の生態に影響を与えているという情報を海外から頂きました。海洋漂流するゴミは1国の影響ではすまない、国際問題になる恐れがあります。
(1) 海や海辺の環境	11.海岸漂着物	海岸に漂着するゴミの7割は破片である。これらは製品が崩壊することによって数を増やし、分解されず堆積して行く。早い内に回収しなければさらに悪化するだろう。
(1) 海や海辺の環境	11.海岸漂着物	金沢の海岸ではゴミがとても気にかかります。今年の冬も木材やポリタンクがたくさん漂着して話題となっています。ゴミには自然のゴミや人工のゴミがありますが、その中で外国産のゴミも多く見られます。
(1) 海や海辺の環境	12.船舶の投棄	放置艇や粗大ゴミの不法投棄が多く見受けられ海岸の景観を損ねていることから、それらの規制の強化や撤去、処分の検討をしてほしい。
(1) 海や海辺の環境	13_1.その他	このようなアンケートを集めるのも無意味ではないが、数多くのHPで具体的な問題を実際に情報発信しているから、それを積極的に収集されることを望む。地方新聞などでは詳しく取材してから特集を組んで報道している。嫌になるほど集めることができるから、情報検索・収集・分析能力のある作業チームを作って、テーマごとに徹底的に集めて欲しい。 また、HPでは双方向の情報交換ができるのであるから、その管理者と接触して、より詳しい情報や意見を求めたりできるはずである。このような漫然とした受身のアンケート調査でどのような成果がでるか、残念ながらほとんど期待できない。
(1) 海や海辺の環境	13_1.その他	ここに使われているデータには、杜撰なものが多い。つまり、事実と反するものや、説明不足もあるようです。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	海辺にはタバコの吸いがらのゴミが非常に多く、特にフィルタのゴミはあとあとまで残っていますので、問題だと思います。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	海岸に一般ゴミがすごく多いことです。煙草の吸殻、ペットボトル、ビニール袋などあげればきりがありません。
(1) 海や海辺の環境	13.2.その他(ゴミ)	特に海の家が設置される期間の海辺のゴミ問題は深刻。
(2) 海や海辺の利用	14.海上交通の混雑	東京湾は、タンカーのような大きな船やプレジャーボート、漁船が入り乱れているので、とても危険です。これらを上手く整理するといいと思います。特に小さな貨物船や漁船が強引に前を横切る事があるので、何かルールがあるといいと思います。
(2) 海や海辺の利用	15.マリンレジャー人口	余暇の過ごし方が成熟する為にも我々一般者が使えるスロープ/駐車場がもっと充実し、漁師さんと共存できるようになれば・・・当然建設/維持するためにはお金が掛かりますから有料施設にしてボランティアも必要でしょう。 このような問題をそろそろ真剣に考えなければならない時期に来ているとおもいます。
(2) 海や海辺の利用	15.マリンレジャー人口	レジャーの釣り人が、うちの定置網至近にて、釣りをしていること。確か、法律では「網の周囲300mでは釣りはできないはずなのですが」網の漁獲に影響がないとは言え、見ていてとても不愉快です。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	危険だから近づかないように、立ち入り禁止にするのであれば、海はすべて立ち入り禁止になってしまう。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	「海で遊んではいけません」と子ども達に言わなければならないような海を作るのではなく、「海で遊んでおいで」と子ども達に言えるような海を作っていきましょう。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	せめて、市民の親しめる水辺を取り戻したいものです。海水浴は無理にしても砂浜や干潟を復活して貰いたいと思います。テーマパークばかりでなく、自然を楽しめる海岸が望まれます。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	特に大都会においては、市民のアクセスできる海岸線が非常に少ないと感じます。このため、海洋国家であるはずの我が国の国民が、海との接点を持つ機会や意識がどんどん薄れてきており、非常に残念です。 また、安全性を重視するあまり、アクセス可能な海岸でも過度の管理が行われており、自然とのふれあいという観点からするとあまり面白くないのが現状でしょう。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	東京湾において市民が近づける自然海岸が少ない。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	海や海辺・川は、かつては、子供の遊び場であり、散歩道であった。今、海や川は、工場の敷地であったり、高いコンクリートの護岸、擁壁で遮られた汚くて危ない場所、子供の遊び場から近寄ってはならない危ない場所になった。子供の情操の欠如・観察力の低下には、このような自然との遮断にも原因がある。
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	広島市周辺の海辺は人工海岸で殆ど占められており、公共や企業用地、道路などで海岸周辺へ出入り不可能な場所も多い。背景には、開発や公共の利益優先のために、自然環境を守ったり市民の安らぎの場を提供するような思想が全くなかったと考えられる。

1. 問題・不満に感じる事項

分野	小分類	寄せられた意見
(2) 海や海辺の利用	17.市民が近づける海辺の状況	近年、親水施設としての、海岸保全施設(人工リーフ、緩傾斜護岸、養浜)が整備されてきているが海岸へのアクセスや海岸付近のトイレ、駐車場、休憩所等の利便施設が不足していると思う。
(2) 海や海辺の利用	18.プレジャーボートの利用	レジャーボート等の不法係留の問題が前進しない背景には、マリナー等の係留施設に余剰がないこととその係留料金があまりにも高価で被サービス側にそれが暴利と感じられることです。また、漁船、遊漁船、屋形船等の「アンフェアな」既得権が傍目に横たわればなおさら撤去を指示されても納得しようがない。
(2) 海や海辺の利用	18.プレジャーボートの利用	現在、プレジャーボートの中でとくに水上オートパイが、沿岸海域、とくに砂浜に大変近い場所で利用されているので、浅瀬の生物に多大の悪影響があると思われます。
(2) 海や海辺の利用	18.プレジャーボートの利用	燃料を入れたくても漁業者しか港湾のスタンドが利用出来ない。仕方無いので税金まみれの車用ガソリンを使うしかありません。税金の還付をして頂けないかと思えます。船舶の駐艇料が高すぎる。公的機関のマリーナを造って欲しい。ゴルフ場なんか作らないで海にはマリーナを作って欲しい。
(2) 海や海辺の利用	19.廃棄物の海面処分	漁具(網、縄、ウキ)や廃棄物の不法投棄
(2) 海や海辺の利用	20.臨海部における土地利用	観光産業を発展させる為干潟を埋め立ててホテルを建てる、それで観光産業が発展するとても本気で思っているのか? 埋め立てで作った人口ビーチに作り物の岩まで丁寧な作ってくれてそのセンスの無さに笑ってしまう。
(2) 海や海辺の利用	21.埋立面積	これ以上の埋め立ては、行うべきでない。
(2) 海や海辺の利用	21.埋立面積	藻場や干潟が簡単に壊され、埋立てられるのは止めるべきである。
(2) 海や海辺の利用	21.埋立面積	広島市では遊休埋立地、その他の使途のない土地(JR貨物ヤード跡、大学の移転跡地など)を抱えて財政負担に困っているのに、県はなぜ不要な埋立てを強行したのか。
(2) 海や海辺の利用	22.海洋深層水	海洋深層水の取水が、日本各地で無制限に進められようとしていることについて危惧しています。
(2) 海や海辺の利用	23.風力発電	現在、風力発電が環境影響評価法の対象外であるため、鳥類についての事前の影響評価のための調査が十分に行われていない。また、風力発電の計画は近年、大型のものが推奨されているので、鳥類への影響について懸念している。
(2) 海や海辺の利用	24.漁業	海に生きる人、海に生まれてきた人々の がないがしろにされ過ぎている。伝統的な漁業の継承、その他のうけざらとしての漁場がつぶされ続けている。
(2) 海や海辺の利用	24.漁業	魚の競り値に幅があり、時には『多く漁獲しても大量貧乏』になる時がある。
(2) 海や海辺の利用	25.その他	特に必要とされる公共事業に関しては、沿岸域に住む人の声、その沿岸域を十分に知り尽くして多角度から 研究をされている人、機関の声を十分に聞き入れ慎重に検討する事。情報の開示、共有は必要不可欠!
(2) 海や海辺の利用	25.その他	海の法律も、陸の法律も及ばない地域がある。 両方が接し交わる"渚"と呼ばれる地域に最も多くの人々が集い、様々に利用されている。行政的な管理主体も雑多に入り混じっている。利用者は主張しあい、管理者は責任が分かりにくいのが現状であろう。
(3) 海や海辺の防災・安全	26.高潮の発生	砂浜の減少によるデメリットでは、波打ち際がより陸地に近くなる事により、沿岸地域の高潮の危険が増す
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	テトラポットの接地により海流が変わり、海岸線が侵食され毎年夏前になると、海岸沿いに土砂を撤くという作業をしている。
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	このアンケートでは、海浜の人工構築物(港、導流堤等)建設による砂浜減少に関する問題が欠落していると思います。
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	河川の工事などによって海岸に砂の供給は減り侵食が進んでいることです。
(3) 海や海辺の防災・安全	27.海岸侵食	堅牢な堤防が、陸地の侵食を防止し、人を災害から守るために造られていることは重々承知しています。ただ、堤防を造る際に侵食の原因をとことん追求したのでしょうか。堤防以外の対策を考慮しなかったのでしょうか。自然に対する影響を事前に評価したのでしょうか。疑問を感じずにはいられません。
(3) 海や海辺の防災・安全	30.地球温暖化による海面上昇	地球温暖化による海面の上昇の増大
(3) 海や海辺の防災・安全	32.座礁船の放置	座礁船の放置